

グループホームかりん

～子ども食堂～



取組みの経緯

開設当初から地域行事（運動会・文化展・清掃など）に積極的に参加し、地域とのつながりを大切に事業運営を行ってきました。

地域共生社会・地域包括ケアシステムの展開として、令和元年の子ども食堂の開設を目指しました。9月に子ども食堂開設委員会を発足し、実態調査、情報収集、見学を実施しました。その翌10月にボランティアの協力依頼や食材提供を近隣スーパーへ依頼し、12月にプレオープンすることができました。

対象は、地域の子ども・住民の方々です。調理はボランティア（小・中・高校生）、グループホーム利用者、職員で行っています。毎月第4土曜日11時30分～12時30分に実施しています。地域の農家さんなどから提供して頂いた野菜をメインに、季節に合わせたカレーライスを1食100円（大人200円）で提供しています。毎回100食程度の利用があります。

新型コロナウイルスの流行を受け、会食スタイルをテイクアウトに変更しました。地域の方の希望を受け、感染予防に努めながら子ども食堂を継続しています。

取組みの成果

- ・コロナ禍で地域の方となかなか交流ができない中、月に1回の子ども食堂で唯一地域の方と対話できる貴重な交流の場になっていることがうれしいです。
- ・グループホームご利用者様の役割作りを図ることができ、日々の生活への意欲向上や達成感などを感じて頂けていることです。
- ・ご利用者様の笑顔が増える時間となっていることも大きな成果です。

○活動データ

- ・実施頻度：月1回（第4土曜日）
- ・利用者数：1回あたり100人程度
- ・取組みに関わる人員：職員

ボランティア

利用者

活動者コメント

・地域の方に「かりんのカレーはおいしいよー。」「また来るけ。」「弁当もおいしかったぜえ。」と、声をかけて頂いています。

・とっとり子どもの居場所ネットワーク「えんたく」さん、「生協コープ」さんからの支援や近所の農家さんから野菜など提供もあり、かりん子ども食堂がパワーアップしています。

・コロナ感染状況を見ながらですが、今年は中学生や高校生・大学生のボランティア参加もありました。

・ご利用者様も私たち職員も「若い元気なパワーをもらっています。

・現在はコロナ禍でテイクアウト方式ですが、落ち着けば会食や勉強会など、小学生から高校生が集える居場所づくりを検討しています。

・コロナ禍が落ち着いた後は、地域の方を対象にした認知症の知識や高齢者介護についてなど、専門職による相談会を食堂内で開催したいと考えています。

孤食予防・居場所づくり・認知症理解をあわせて進めていけたらと思います。

利用者の声

◆かりんのご利用者様

「できることをさせてもらえて嬉しい。」

「ワイワイ言いながらみんなでするのが楽しい。」

→ご利用者様、ボランティアの方々、職員が一丸となって取り組み、できることを一緒に喜ぶことが笑顔につながっています。

◆地域の方

毎月楽しみに来てくださっている方が多いです。子ども食堂を通じてかりんという施設を外見だけではなく、職員やご利用者様に会うことで、施設内の雰囲気やどんな施設なのか地域の皆様に知って頂けるきっかけになっています。

社会福祉法人 敬仁会

本部所在地／鳥取県倉吉市山根 55 番地

マグノリア／鳥取県倉吉市上井町 1 丁目 2-1

電話番号／0858-26-3922

FAX 番号／0858-26-3923

法人HP／<https://www.med-wel.jp/>

他に実施している公益的取組み：

マグC a f e

